



# 若竹だよい

279



## 【巻頭言】

## 新たなステージに

### —施設名称変更と施設の増改築—

園長 野田大燈

新緑の五月に相応しい大自然の中の若竹学園は伸び伸びとした穏やかな風景ですが目を国外に転じれば朝鮮半島情勢は一触即発の状況です。

韓国のみならず国内に於いても毒ガス用マスクや各種シェルターが需要に追いつかないとか。

子ども達の委託を受けている児童施設としては、如何なる状況に遭遇しても児童を護る義務があります。

若竹学園でも緊急避難場所の確保と避難訓練を行い、緊急時の体制を取っています。

このような非常時を通して子ども達と職員の絆がさらに強まることを希望しています。

人生悲喜交々と申しますが、念願の若竹学園園舎の増改築に伴う「入札」が県下の建設業者さん 16 社によって行われ、建設業者が決定しました。

今月中に工事着工となり、明年 2 月末には竣工の予定です。

また、本年 4 月 1 日より従来の「情緒障害児短期治療施設」の名称が法律的にも変わり『児童心理治療施設』となりました。

名称変更については長きに亘り厚生労働省に具申しておりましたが、「治療」は医療機関によるもので「福祉」ではありません。

そのようなことから入所対象児童を不登校を中心とした児童の施設としたものの、医療関係団体

の理解が得られないことから「大凡 6 カ月と言う短期間の軽易な精神科領域の治療」として了解を得たようです。

しかし時代の変化と児童の抱える精神的疾患や発達障害・虐待・ネグレクトなど 6 カ月と言う短期では治療が難しい傾向の児童が増加したことから今回の名称変更となりました。

名称の変更と園舎の増改築は新たな時代に添ったワールドなものでなければなりません。

開園して約 25 年、建造物としては古くはありませんが、当時の基準での内部構造ですので、1 人当たりの居住面積が 3,3 m<sup>2</sup>と狭いことや、治療施設としての機能が十分ではなかったこともあったの増改築でした。

従来からの地道な治療活動とその効果により国と県・市が認めて下さったことです。

若竹学園は自然豊かな環境にありますので、従来の活動に増してこの環境を活用したハーブの栽培やヤギの飼育を考えております。

最近はやぎでのアニマルセラピーが評価されていますが、やぎにとっての豊かな飼料と伸び伸びした空間がる若竹学園では最適と考えています。

工事期間が約 10 カ月と長丁場ですので工事期間中の居住空間や食事に関する問題がありますが、子ども達と共に最良の方法を選択して実行して参ります。

これを機会に開園より約 25 年の記録を小冊子に纏めて次代に残そうと考えています。

今年は偶然にも施設名称の変更と増改築が重なった記念すべき年だけに職員・子ども達が協力して心に残る 1 年となるように努力します。

**学校職員の紹介**

# 若竹学級だより

## 2017 年度、幸先のよいスタート

新年度が始まり 1 ヶ月が経過しました。本年度の「若竹丸」は、中学生 13 名、小学生 3 名、学校職員 6 名の計 22 名で出航しました。途中いくつかの港に寄りながら、さまざまな自然・文化・人にふれて、子どもたちは大きく成長していくことでしょう。

**本年度の重点**

### 1. 子どもに寄り添った支援・指導

子どもや保護者の願いの実現に向けて、個に応じた支援・指導を行います。

### 2. 基礎学力の充実

繰り返し課題に取り組ませ、また、分かる授業を展開し、「ベーシック TAKAMATSU」などを活用して「読み・書き・計算」ができるようにします。

### 3. 体験活動の重視

五色台での野外活動、特技や関心を生かした活動、校外施設でのふれあい体験活動を設定し、子どもたちのよさを見つけ、ほめていきます。

### 4. 自尊感情の育成

子どもらが自らを見つめ、伸びやよさを実感しながら目標に向かって挑戦できるよう、教職員が支援していきます。

### 5. 進路保障の充実

昨年度は、3名の生徒が公立高校に合格し、ほぼ全員が志望校へ進学しました。本年度は、本人の意向をふまえ、原籍校や関係機関との連携を密にし、上級学校への進学を見据えた進路指導を実施します。

① 氏名, ② 担当, ③ 趣味, ④ 座右の銘

① 尾野 弘司 	① 福田啓太郎 
② 中3担任(社会)	② 小学校担任
③ 旅行, スキー	③ ランニング
④ Que sera sera	④ 一生青春
① 岡本 勝彦 	① 芦田由加里 
② 中2担任(理科)	② 小学校担任
③ ドライブ	③ ピアノ
④ 諦めたらそこで終わり	④ 七転八起
① 植松 繁 	① 大恵 淑恵 
② 中1担任(数学)	② 学習支援(小中)
③ 列車に乗ること	③ 嵐
④ 大きく深呼吸して	④ 一期一会



4月2日に峰山公園、芝生広場にて高松紫雲ライオンズクラブ主催の「ふれ愛ウォーク」にみんなで参加しました。

多数の方が参加されており、子ども達は大人をどんどん追い越していきたくさん歩きました。また、運営の方から遺跡の説明を受け、香川県にこんな遺跡があるんだと興味を持って話を聞いているのが印象的でした。歩いた後はおにぎりや豚汁を頂きました。



4月3日に歩いてお花見に行ってきました。元気な小学生が先頭を歩き一時間程度で白峰寺の広場まで歩きました。子ども達の元気な様子に前日のふれあいウォークでの疲れは無いのかと驚かされました。

到着後は、桜の前での記念撮影やボリュームたっぷりの食事を嬉しそうに食べていました。



## よもぎ餅作り

4月8日によもぎ餅作りを行いました。本来は、杵や臼を使ってする餅つきを麵棒やすりこ木を使って餅つきをしました。子ども達は一生懸命に米粒を潰しながら餅になるにはどれだけ時間がかかるのかと話しをしていました。お餅が冷えるのが早く、食べる頃には冷たくなってしまいましたが自分達で一生懸命作った事もあり嬉しそうに頬張っていました。



子ども達からはお餅は苦手だけど餅つきは楽しかったという意見がありました。

食育の活動を通して食べることの大切さなどを伝えていきたいです。



## 工作ブーム

最近、昼休みや放課後、工作が好きな男の子たちが集まって工作をしています。

ケント紙、厚紙、セロテープ、



ハサミ、両面テープなど、色々な道具を駆使して、作り方の無い物を、自分で考えながら



作っています。

先日までは、靴やスリッパを自分で作りました。

見よう見真似で作って色を塗り仕上げました。

今は、ポケモンの絵を見ながら、それぞれ好きなキャラクターを作って遊んでいます。

毎日何が出来上がるか楽しみです。



## 職員紹介

4月からよろしくおねがいます

<生活>山本 瞳

慣れないことばかりでご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願ひ致します。

<生活>菰田 裕一

一人ひとりの健康に気遣いながら、和やかな環境づくりに努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

～御寄附ありがとうございました～

イオン高松店様

幸せの黄色いレシートキャンペーン寄附

## 4月行事

2日 紫雲ウォーク

3日 お花見

15日 太鼓

在籍人数 平成 29 年 4 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	0	3
	中学生	4	4	8
	その他	1	0	1
	計	8	4	12
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	4	1	5
合計		12	5	17

### 編集後記

新年度も始まり、子ども達と一緒に新たな事へ挑戦する一年にしていきたいと思います。

児童指導員 松下 幸太郎

### 第 279 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈